



「地名はおもしろい！その1」

今回は地名をぶらり探ります。全国各地にはさまざまな地名があります。

平成の大合併によって兵庫県下に91市町（21市70町）が現在41市町（29市12町）になりました。全国では、3232市町村（670市1944町568村）が1755市町村（784市784町187村）になりました。平成の大合併によって、多くのいわれのある文化的地名が失われました。

ちなみに「兵庫」の地名の由来は、大化の改新の際、播磨と摂津の国境の須磨関を守るため、兵器庫を設置せよとの命により、武器を収めた倉「兵庫（つわものぐら）」がつけられたからといわれています。



さて、加古川北高校の近くには「ひおか」という地名があります。

表記上は、日岡・氷丘が存在します。日岡駅・日岡神社・日岡御陵・日岡山公園、氷丘保育園・氷丘小学校・氷丘中学校と分かります。歴史的には、「日岡」は、奈良期から見える地名です。『播磨風土記』（ぶらり創刊号掲載）によると、狩りの時、鹿が丘に走り登って比々と鳴いたので日岡と名づけたという記述があります。安産の神様で有名な日岡神社は、延喜式内社という格式の高い神社です。そのことについて、「延喜式」神名帳は「日岡坐天伊佐々比古神社」と記述が見えます。明治期になり、1899年（明治22）氷丘村が誕生し、昭和12年まで加古郡の自治体名は、氷丘村です。

身近な地名に心を馳せるだけでもふるさと加古川への想いが醸成されかもしれませんね。